

特集

海の国から

太平洋に大きくせり出した紀伊半島。

その大部分を占める和歌山は海と山の国である。

緑と青が深く濃くもつれあい光が遊ぶ。

人々は、自然の神秘に触れ、神と崇め、親しみ、ともに暮らしてきた。

かつて、海上交通が盛んだった頃、

和歌山は交通の要衝として賑わい、

絶好の寄港地でもあった。

リアス式海岸で小さな屈曲に富み、良港に恵まれ、

別天地のように美しい紀伊水道沿岸は、

母なる海の多くの恩恵を受けるとともに、

時として厳しい表情も見せる。

太平洋へと開けたこの海には、

国内、国外を問わず数えきれないほどのドラマがあり、

今も各地で語り継がれている。